

令和4年度 いのちの授業 事例集（小学校）【体育】

掲載数

41

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	小4	体育	保健「体の発達発育」【命の授業】	命の大切さやつながりの尊さ、親や家族、医療関係者の思いを知り、命の大切さに気付くことをねらいとして授業を行った。講師に助産師さんと保健師さんを招き、赤ちゃんが産まれてくるまでの過程や、産まれたとき、その後の成長の過程などについて話を聞いた。胎児の心音を実際に聞いたり、赤ちゃん人形を抱いたりする経験をした。赤ちゃん人形を抱く体験は小グループに分かれ、丁寧に扱えるようにした。	講師 助産師・保健師 (母乳育児相談Babys・アイ、幸区役所地域みまもりセンター)
2 川崎市	小4	体育	「いのちのはなし」	保健の学習で「育ちゆく体とわたし」について学習する。「思春期になると心と体は次第に大人に近づき、体つきが変わったり、いのちのものが作られるようになっていく」ことを学ぶ学習の発展的な内容として、『いのちの大切さ』について考える機会を毎年設定している。今年度も助産師さんからいのちの大切さについて講話を聞いた後、胎児の模型や新生児人形に触ったり、胎児の心音を聞いたりするなど体験的な学習を行った。学んだことを振り返り、自らの生活に生かしていく。	神奈川県助産師会
3 川崎市	小6	体育	薬物乱用防止教室	薬物の恐ろしさ、特に今若者が手を出してしまうケースが増えている大麻、薬物に誘われた時の断り方、薬物から身を守るための方法などについて話をいただいた。講師の方から児童へ、薬物から身を守るためには「自分を大切にすること。」「自分」と「他人」を大切にすることは薬物は寄ってきづらいことや孤独を恐れず本当の仲間を作れることを伝えてもらった。児童は、興味本位で手を出してはいけないことや薬物について正しい知識を身につける大切さを学ぶことができた。	講師：富士見ライオンズクラブ
4 川崎	小3	体育	保健体育「バランスのよい食事について知ろう」	自分の健康に必要なバランスのよい食事について学習した。心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につけられるよう指導した。児童は健康には、運動・食事・休養睡眠が大切であることを学んだ。	・体育専科 ・栄養士

5	川崎市	小6	体育	薬物とからだの関係	私たちの一番身近にある依存性の高い薬物＝タバコについて取り上げ、たくさんのスライドを写しながら詳しく説明をしていただいた。タバコには200種類以上の有害物質があり、50種類以上の発がん性物質が含まれている。若い頃興味本位で吸ったたった1本のタバコからニコチン中毒になり70歳代で酸素吸入が離せない病気「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」になってしまった方の話を、写真を交えながら子どもたちの心に響くように語られた。ゲーム依存やカフェイン（エナジードリンク）など薬物だけでなく様々な依存症があるという話に子どもたちは、初めて知った表情で驚きの声を上げていた。	講師：本校薬剤師
6	相模原市	小4	体育	よりよく成長するための生活や人との関わりを考え行動する	保健領域では、自分の体の成長や体の変化について考え、現在も未来も健康な心と体でいるためには、どのような生活をするかよいかを考え実践した。助産師の講話では、新しい命の誕生の仕組みや、プライベートゾーンの話聞き、自他を尊重し大切にすることを学んだ。今までの学習の積み重ねから、「健康とは…？」という問いに対し、児童は「大切なもの」「自分の命やちがう命を守れること」「積み重ね」「幸せ」「未来の健康」など自分なりの言葉で答える様子が見られた。	講師：助産師
7	相模原市	小複合	体育	わかぎ級の子となかよくなる	支援級主体で、合同体育を行った。（小1，小2）わかぎ級の子と活動することを通して、一人ひとりのよさや得意なことや、よりよい関わり方を知り、誰でも大切にしようとする心を養う。また、どのような学び方をしているのか知り、支援級のありかたについて気づかせる。支援級で普段行っている、パラシュートやダブルタッチを行うことで、支援級の子が活躍する場を設定した。	
8	横須賀市	小4	体育	育ちゆくからだわたし	養護教諭を講師に招き、思春期に起こる男女の体の外見上の変化について学習した。体の変化は誰にでも起こること、個人差があることを知り、周りの人と比べるのではなく、自分の心と体を大切にしていけばいいことを感じている様子だった。心と体の変化について、不安に思っていることや、疑問に思っていることを養護教諭に紙に書いて質問し、抜粋した質問に対して、保健便りで回答して下さったのも、子どもたちの心配を晴らすことへとつながっていた。	講師：養護教諭
9	横須賀市	小4	体育	育ちゆく体わたし	自分たちの身体の成長について考えた。男女で成長の仕方が違うこと、子どもを産むための体に変化にしていることを学んだ。	
10	横須賀市	小5	体育	体育科保健領域「けがの防止」	横須賀市教育委員会が募集している「スクール救命教室」を活用して行った。「もし身近な人が倒れたら」という場面について、その緊急性と行動のしかた、心肺蘇生の効果等について講義形式で学習。その後、トレーニングボックスを使用し、心肺蘇生法・AEDの使用法等の実技講習を行った。実技後、実際に身近な場面で人が倒れた事例をもとに、心肺蘇生の重要性を確認し、命を守る方法についてや、いのちの大切さについての理解を深めた。	講師は横須賀市消防局職員

11	横須賀市	小6	体育	病気の予防	<p>6年生の保健学習では、感染症や生活習慣病の予防、喫煙・飲酒・薬物乱用の害などを取り上げ、なぜ病気になるのか、どうすれば病気を防ぐことができるか、喫煙や飲酒、薬物の乱用の危険を理解し、自分や周りの健康を守ることを学んだ。</p> <p>そして、「薬物乱用防止教室」を依頼し、DVDや講師の方の説明で薬物による害や薬物乱用のこわさについて教わった。振り返りでは、「自分や周りの人のためにも、薬物は絶対にやってはいけないと思った」などと自分の命を大切に生きようと感じている様子が見られた。</p>	「小学保健」 (光文書院)
12	横須賀市	小5	体育	スクール救命教室	<p>救命士をお招きし、命を救う方法の一つである「心肺蘇生法」について実技を交えながら学んだ。救急車が到着するまでの時間は平均8分。それまでの時間に救命措置をとることができるかどうかによって傷病者の救命率が大きく変わるという事実や、本校の卒業生が家で倒れた父親をこの講習で得た経験を生かして救ったという話を聞き、今回の講習の必要性を感じ取る子どもたちが多くいた。救命士による実技を模倣しながら実際に子どもたちも目の前の体験キットを傷病者に見立てて練習した。受講後多くの子どもたちが「知ることができてよかった。」と声をそろえて口にしていた。</p>	横須賀市消防局救急課 担当 横須賀市教育委員会 保健体育課 担当
13	横須賀市	小5	体育	救急救命教室 「自分が守る命」	<p>救急車やAEDなど子どもたちは存在を知っているが、自分が使うことはないという思いが強かった。しかし、実際に事故の事例や生命維持の基本を知ることによって自分にもできることがあるのかもという声が増えていった。心肺蘇生法では、実際に体験してみると、思ったよりも力があることややっている間は時間が長く感じるなど命を救うことの難しさやつらさにも気づいていった。</p>	横須賀市消防局職員 心肺蘇生体験セットを使用し、体験しながら心肺蘇生のポイントを具体的に学ぶことができた。
14	横須賀市	小5	体育	救命救急	<p>保健の授業として、横須賀市消防局の方を招き、日常生活における生命の危険や身の安全の確保について、子どもでもできる人命救助とその際の心得などについて学んだ。機材を使っての胸骨圧迫などのトレーニングを行った。その際、実際に小学生が救命措置を行った事例を聞き、子どもたちは緊張感と現実感をもって取り組むことができた。自分たちでもいのちを守ることができる方法を学び、生活の中で「いのち」を意識するきっかけとなった。</p>	横須賀市消防局 胸骨圧迫トレーニング 機材
15	横須賀市	小5	体育	けがの防止	<p>本校には137mにわたる長い廊下がある。そのためかわからないが、廊下を走って移動する児童が後を絶たない。安全に気をつけて生活することは、自他の命を尊重することに直結している。学校のあるさまざまなきまりやルールは、「守らなければならないもの」ではなく、「自分たちの安心のために守っていききたいもの」という意識を持ってほしい、という願いから授業を設定した。危険予測、正確な判断、正しい行動を意識して生活することとともに、お互いの存在を尊重する大切さに気付くことができた。</p>	講師は本校養護教諭

16	湘南三浦	小4	体育	育ちゆく体とわたし ~思春期にあらわれる変化1・2~	思春期におこるからだの外側の変化、内側の変化の学習を通して、おとなになることはどう変化することなのか、自分なりにとらえられるようになることをねらいとしている。まとめとして、確認しあったことは次のとおりである。 (1) わたしたちのからだ：思春期を迎えて変わっていくことは自然なこと。変わり方や変わる時期はちょっとずつちがうこと。 (2) わたしたちのこころ：変化が訪れた友だちをからかわないこと。 (3) 困ったときには：疑問や不安を感じたらまわりの大人にたずねること。	男女のシルエット（子ども 大人） 男女の内性器のしくみ図 卵子の大きさを示す教具
17	湘南三浦	小5	体育	心の健康 不安や悩みへの対処	自分の不安や悩みについてグループや全体で話し合い、対処の方法は多様にあること、人によって選択する方法は違うことに気付いた。体育の授業では体ほぐしの運動を行い、不安や悩みの対処方法の一つとして体験した。こころの相談員に来てもらい、相談の実例や、不安や悩みの対処方法について聞いたり、相談できる場所はたくさんあることを聞いたりして、誰もが悩みや不安をもつことを理解し、よりよい生活を送ろうとする意欲を高めた。	心の相談員
18	湘南三浦	小6	体育	ライフセービング教室	海や川、水辺の事故に遭遇した際の救命活動について、地元で活動するライフセーバーから詳しく学ぶことができた。自分の命を守るために何ができるか、自分ごととして受け止め考える機会となり、さらに、命を救うためにとるべき行動を身につけることができた。	講師 地元のライフセービングクラブの方
19	湘南三浦	小3	体育	みんなちがっていいんだよ	3年生の児童を対象に体の発育・発達について授業を行った。発育のしかたは個人差があることを理解するとともに、自分と他人との違いを肯定的に受け止めることをねらいとした。とても分かりやすいパワーポイントの資料を使っの授業で、とても真剣に話を聞いていた姿が見られた。それぞれちがっていてもみんな大切な体・大切な命。自分の体だけでなく、男女の特徴や成長について考えを深めることができた。	本校養護教諭
20	湘南三浦	小4	体育	生活習慣を見直そう	養護教諭の話や、資料を活用したりして、生活習慣病はどのようなものか、どのようにしたら防ぐことができるのか、食事の取り方で気をつけることは何か等を考え、自分の生活を見つめ直し、生活習慣を改善できるようにした。	担任と養護教諭のTT 藤沢市教委学務保健課と藤沢市学校保健部会が共同で作成した資料を使用
21	湘南三浦	小1	体育	きまりをまもって	学校の中にあるきまりや、登下校中にある事故などについて、命を守るためにする行動について学んだ。授業で教科書の資料を使い考えたり、交通安全教室で体験したりすることできまりを学習した。	担任 藤沢北警察署生活安全課
22	湘南三浦	小4	体育	育ちゆく体とわたし	思春期には、体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れることについて理解できるようにする。思春期には初経・精通がおこり、異性への関心も芽生える。これらの変化は誰にでも起こる大人への体へ近づく現象であることを理解し、肯定的に受け止めることができるようにする。	授業者：養護教諭 4年全クラス

23	湘南三浦	小複合	体育	体の成長とわたし	一年生から今までの身長伸びを測定し、自分たちの成長を実感した。宿泊行事を前に、養護教諭と連携し、思春期に表れる体の変化について学び、命のはじまりの元になる精子と卵子について学習した。命の大切さについて関心を寄せている児童の感想もあった。	養護教諭 (小5、6年生)
24	湘南三浦	小5	体育	自然災害によるケガ	震災の年に生まれている学年のため、東日本大震災については折に触れて授業内で取り扱ってきた。また、本校の立地が海に近いので、津波等の災害に対しても、意識を高く持つように指導をしてきている。保健では、ケガの防止の単元において、自然災害についての学びがあり、自然災害にはどのような種類があるのか、実際に起きた場合の避難経路の確認、家族との連絡や手段など、より自分事として捉えられるような授業を行った。そして、自分の命は自分で守ることを実践できるような指導を行った。	保健教科書など
25	湘南三浦	小4	体育	いのちの授業 (性教育)	4年生の「ほけん」の授業で、児童の「第二次成長（思春期の体の変化）について」と「新しいいのちの誕生のしくみ」について助産師さんをしながら各学校で授業をしてくださっている方に来ていただいた。自分たちがいかに大切にされて生まれ、育てられてきたかということ、自分の身体やいのちは自分で大切にしなければならないこと、他の人を傷つけてはいけないことなどを学んだ。	横浜市立市民病院 助産師
26	湘南三浦	小5	体育	性教育	保健「心の健康」単元 第2章「心と体の関わり」に関連して、養護教諭の授業（概論）と外部講師の授業（実践）を行った。宿泊体験林間学校前の時期を選んだ。具体的に生理用品を使用して行った。	アクロストン
27	湘南三浦	小4	体育	思春期の体の変化	思春期という言葉をはじめて聞く児童が多く、どのような変化が起こるのかを一つ一つ丁寧に確認した。授業の後半では養護教諭から体の中で起きている変化について説明を受けた。LGBTQについても話を聞き、性別は男女だけではないことを知り、驚いている児童もいた。また、保護者と一緒に学習できるプリントを配布した。	養護教諭
28	県央	小6	体育	心肺蘇生法を学ぶ	もし、自分の目の前で友だちや先生が倒れたときにどうするか、消防署職員のロールプレイを見ながら知識を獲得し、その知識を用いた実演を行った。人工呼吸、心臓マッサージを中心に行い、模擬のAEDの使い方も学んだ。グループに分かれ、役割も交代しながらロールプレイをすることで、児童は具体的な動きをイメージして取り組むことができた。「すごく大変だった」「本当に目の前で倒れたら対処できるか心配」と言った声も聞かれた。	講師は、消防署の職員4名。 人に見立てた人形を活用することで、実際の場面をイメージしやすかった。
29	県央	小3	体育	水の安全指導	体育着、靴のままプールに入る体験を通して、水の事故にあった場合に、自分の命を守るためにどのような対応をしたらよいかを学んだ。その後、水の安全に関する動画を視聴して、川で遊ぶ時の危険性、何かあった時にどのように行動すればよいかを学んだ。児童は服を着たまま水中を歩く困難さを体験したり、水の事故にあった時の行動の正誤を確認したりできた。	

30	県央	小5	体育	応急手当講習会	心肺蘇生法やAEDの使い方について、簡単な練習キットを使用して体験的に学習した。胸骨圧迫だけでなく、周囲の安全確認、呼吸の確認など、一連の動作についても演習を行い、傷病者を発見した時の行動について学んだ。 また、急性心不全等で亡くなった方や、AEDや応急手当により一命をとりとめた方などの事例を交えたビデオを鑑賞し、自ら率先して行動することの大切さや自分たちの行動で救える命があることなどについても学習した。	講師は大和市消防本部救急救命課職員 心肺蘇生トレーニングキット「あっぱくんライト」を一人1セット使用し、実践的に学習することができた。
31	県央	小6	体育	応急手当講習会	AEDの役割（AEDを使用することで救える命がある）、どんなところに設置されているか、等の話を聞いた後、実際に扱い方を教えてもらい、練習キットを用いて胸骨圧迫の心臓マッサージの体験をした。	消防署職員
32	中	小6	体育	いのちのはなし	助産師の方による「いのちのはなし」では、お腹の中にいるときの赤ちゃんの心音や産声を聞いたり、命の最初の大きさ（受精卵）を見る等の体験を行った。自分自身のいのちの始まりから誕生までを知ること、生きている素晴らしさについて考えることができた。また、赤ちゃん人形を用いた「抱っこ体験」により、赤ちゃんの命の繊細さや、育てる大変さを感じとることができた。	助産師
33	中	小4	体育	二次性徴	男女の二次性徴について学年一緒に学んだ。昨年までは男女別に実施していたが、本年は一緒に行った。帰りの学活で女子には生理用ナプキンの試供品を配布した。保護者あてにもプリントを作成し、家庭でも話題にしてもらえるようお伝えした。	養護教諭 日野原重明の絵本「いのちの授業」
34	中	小4	体育	育ちゆく体とわたし	保健体育「育ちゆく体とわたし」では、年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発達させるための生活について学習した。体の変化には個人差があることがわかり、「悩んでいる友達がいたらこっそり話を聞いてあげる」や「心配なことは相談する」ことをみんなで確認できた。また、成長のために健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとする姿が見られた。	養護教諭から「思春期の体の変化について」話した。 保健体育3・4年（教科書）学研
35	中	小3	体育	保健「いのちのはじまり」	新生児の大きさの人形を見せ、事前に調べてきた自分の生まれてきた時の身長や体重を重ね合わせることで、赤ちゃんが生まれてきた時の大きさを実感させた。 赤ちゃんが胎内で育っていく様子をグループになって友だちと話し合いながら絵で並べていった。また、自分が生まれてきた時のエピソードや名前の由来などを調べ、家族の思いや喜びを知ることによって赤ちゃんが大切に思われて生まれてきたことやかけがえのない存在であることに気付くようにした。	

36	中	小4	体育	思春期の体の中の変化	月経や射精のしくみなど、思春期の体の中で起こる変化を学習した。精子・卵子のおよその個数や寿命、これらが結びついてひとつのいのちが生まれることを知り、いのちの始まりの素晴らしさに気付くことができた。また、思春期の体の変化は、新しいいのちを生み出すための準備の変化であること、個人差はあるが誰にでも起こることなどを知り、自分の体、こころ、いのちを大切にしたい気持ちをもつと同時に、周りの人への思いやりの気持ちを持つことができた。	養護教諭がT1・担任がT2として指導。 「みんなの保健」学研
37	中	小3	体育	水辺の安全教室	夏に向けて、水辺の事故を防止するために、ライフセーバーの方からライフセービングの必要性やおぼれるとはどういうことかなのかについてお話を聞いた。自己防衛の方法や、危険回避の方法を知ること、自らのいのちを大切にすることを学んだ。	大磯ライフセービングクラブ
38	県西	小4	体育	保健 「思春期の体の変化」	思春期になると、しだいに大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経・精通などが起こったりすることを学んだ。体だけでなく、心にも変化があり、異性や同性への関心が芽生えることも併せて学習した。児童一人ひとりが、自らの成長を振り返り、また、これから起こる変化を学ぶことで、今後の成長を楽しみにする様子が見られた。	教科書の内容に沿って、養護教諭が授業を行った。
39	県西	小4	体育	育ちゆく体とわたし	年齢を重ねるごとに成長していく自分の姿を実感するために、健康手帳を振り返りながら、自分の体の変化をグラフで表した。思春期になると男女ともに変化が起き、その変化には個人差があることや、異性の関心が高まることを知った。さらに、成長が命の誕生につながる尊いことだと学び驚いていた。 最後に、自分が健康でいるのは、自分だけのことではなく、自分の未来の子どもにもつながっていくことを伝えた。	健康手帳 新みんなのほけん 3・4年
40	県西	小4	体育	育ちゆく体とわたし	受精の仕組みを学び、生命がどのようにして誕生したのか自分たちの体がどのようにして変化して大人になっていくのかを個人差があることに留意して理解した。育っていく過程で家族に見守られていることや、自分の体を大切にすることを話し合った。	養護教諭とのT.T
41	県西	小4	体育	保健 体の発育と発達	「体の中で起こる変化」の学習内において赤ちゃんの誕生についての話を聞き、生命の尊さについて学んだ。	みんなのほけん 3・4年（学研）